





# 世界史B, 日本史B, 地理B, 政治・経済 物理, 化学, 生物 問題

はじめに、これを読みなさい。

- この問題冊子は149ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。各科目のページ数は以下のとおりである。必要な科目を選択して解答すること。

世界史 B	1 ページから 21 ページ
日本史 B	22 ページから 42 ページ
地 理 B	43 ページから 68 ページ
政治・経済	69 ページから 88 ページ
物 理	89 ページから 104 ページ
化 学	105 ページから 123 ページ
生 物	124 ページから 149 ページ

- 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
- 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
- 解答用紙の「解答科目マーク欄」にマークし、「解答科目名記入欄」に解答する科目名を記入すること。マークされていない場合、または複数の科目にマークされている場合は、この時限の科目は採点対象外となる。
- 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークすること。
- 1つの解答欄に2つ以上マークしないこと。
- 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入のこと。
- 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
- 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
- 解答用紙はすべて回収するので、持ち帰らず、必ず提出すること。
- 問題冊子は、必ず持ち帰ること。
- 試験時間は、60分である。
- 問題文の中で、国名、地域名、企業名については略称、通称も用いている。
- マーク記入例

良い例	悪い例
	  



## 地 理 B

(解答番号 1～48)

〔 I 〕 南北アメリカ大陸に関する以下の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

南北アメリカ大陸は、自然地域の構成からみて双方ともかなりよく似通っている。とくに中緯度帯でその傾向が強く、大別すると西岸と内陸部、東岸では、地域特性がそれぞれ顕著に異なる点が共通している。

おもに地中海性気候とされる大陸西岸中緯度帯は、南北アメリカ大陸とも年間を通じて晴天日数が多い。冬季以外は乾燥気味のため、平野部では灌漑による農業が行われており、南北アメリカ大陸ともにワイン産地としてもよく知られている。南アメリカ大陸西岸に沿う大山脈の東側に隣接する領域は、 の風下にあたるため、恒常的な  現象も手伝って、 と呼ばれる広大な乾燥帯が分布している。

これに対して内陸部は、東西に走る大きな山脈がないため、とくに北アメリカ大陸では、北極気団とカリブ海周辺の熱帯気団の双方から影響を直接受けやすい。また、両者の性質<sup>a</sup>の異なる気団が局地的に直接接触した場合、深刻な物的及び人的被害をもたらす自然災害が頻発するものこの地域の特徴の1つである。歴史的には、とくに北アメリカ大陸では19世紀の中ごろから、農畜産物の集散・運送や農機具等の生産を担い、内陸水上交通と鉄道網の発達を背景とした都市群が急成長した。中でも  は、その典型的な大都市である。

アパラチア山地から東の大西洋に至る北アメリカ大陸東岸の中緯度帯は、比較的温暖で年間降水量も適度な気候であり、秋季における熱帯低気圧の襲来や植生などにおいて、北東北以南の日本など、東アジアの中緯度帯とも類似している。これに対し、南米の中緯度東岸の場合には、例えば湿潤パンパとされる ラプラタ川河口部に位置する、この地域の中心都市ブエノスアイレスでも、年間降水量は1,000 mm程度でしかなく、気候特性はどちらかという内陸的である。

中緯度帯でも極地方に近い冷帯域については、南アメリカ大陸では、南北に走る山脈の西側と東側で降水量に大きな差異がある。東側は海岸に至るまで乾燥帯で砂漠およびステップ地域であるが、フィヨルド地形が連続する西岸は比較的湿润で、サケ類の養殖事業が盛んな地域もある。北アメリカ大陸でもとくに北緯50度前後の沿岸ではフィヨルドが続いており、林業や水産業とともに、西岸には豊富な電力資源を利用したアルミニウム精錬などに特化した鉱業都市なども存在する。これに対し、東方の五大湖北岸からハドソン湾にかけては、先カンブリア紀の地層が地表に露出する地域が広がっており、地盤の堅固さのゆえに、19世紀中葉に大陸横断交通路が建設される際に一定の自然障害となってきた。当該地域は、今もって農業生産には不適だが、豊富で多様な金属資源を産出するため経済上重要な地域となっている。

問1 空欄  に該当する語句を1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=1)

- A 高圧風                      B 偏西風                      C 偏東風                      D 貿易風

問2 空欄  に該当する語句を1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=2)

- A エルニーニョ                      B フェーン  
C ポーラー                              D ラニーニャ

問3 空欄  に該当する語句を1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=3)

- A ギアナ高地                              B グランチャコ  
C セルバ                                      D ブラジル高原

問 4 下線部 a に関して、この地域において英語以外の公用語を有する国を1つ  
選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=4)

- |              |          |
|--------------|----------|
| A グレナダ       | B セントルシア |
| C トリニダード・トバゴ | D ハイチ    |

問 5 下線部 b に関して、その自然現象として最も適当な語句を1つ選び、解答  
欄にマークせよ。(解答番号=5)

- |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| A サイクロン | B トルネード | C ハリケーン | D プリザード |
|---------|---------|---------|---------|

問 6 空欄 

エ
---

 に該当する都市名を1つ選び、解答欄にマークせよ。(解  
答番号=6)

- |            |          |
|------------|----------|
| A サンフランシスコ | B シカゴ    |
| C デンバー     | D ヒューストン |

問 7 下線部 c に関して、領域内にこの山地部を含まないアメリカ合衆国の州を  
1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=7)

- |               |           |
|---------------|-----------|
| A ウェストヴァージニア州 | B ニューヨーク州 |
| C ミシガン州       | D メリーランド州 |

問 8 下線部 d に関して、この川の水系内に位置する河港都市を1つ選び、解答  
欄にマークせよ。(解答番号=8)

- |          |            |
|----------|------------|
| A アスンシオン | B イキトス     |
| C ベレン    | D リオデジャネイロ |

問 9 下線部 e と同様の地形がみられない島を 1 つ選び、解答欄にマークせよ。

(解答番号=9)

- A ヴァンクーヴァー島                      B ニューファンドランド島  
C フェゴ島                                      D マラジョ島

問10 下線部 e と同じように沈水による海岸地形として最も適切なものを 1 つ選  
び、解答欄にマークせよ。(解答番号=10)

- A 海岸段丘                                      B 鳥嘴状三角洲  
C ラグーン(潟湖)                              D リアス式海岸

問11 下線部 f に関して、当該地域の特性をもとに発展した発電方式として最も  
適切なものを 1 つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=11)

- A 水力                      B 石炭火力                      C 地熱                      D 潮汐力

問12 下線部 g に関して、同様の特徴を示す地域を 1 つ選び、解答欄にマークせ  
よ。(解答番号=12)

- A チベット高原                                      B メキシコ高原  
C カスピ海沿岸                                      D バルト海沿岸

〔Ⅱ〕 人口に関する以下の一連の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

1. 世界の人口は著しく不均等に分布している。最も広い範囲にわたって人口が密集しているのは、日本から  に至るモンスーンアジアである。西ヨーロッパや  沿岸、北アメリカ北東部などにも人口が密集している。人口分布の地域的な違いは、自然環境や社会・経済の形態などの地域的な特徴を反映していると言われる。モンスーンアジアでは、集約的な農業が古くから発達していた。 沿岸では古くから都市文明<sup>a</sup>が栄え、都市への人口集中が進んでいた。西ヨーロッパや北アメリカ北東部では産業革命を契機として著しく経済が発展して、それに伴って人口が増加するとともに、都市への集中が進んだ。

これに対して、人口密度の低い地域や未居住の地域は、高地や極地、寒帯、乾燥帯などに広がっている。人間の日常的な居住がみられない地域は<sup>b</sup>アネクメーネと呼ばれる。

1950年に25億人であった世界の人口は20世紀後半に急増して、2000年には60億人を超え、2015年には73.5億人になった。第二次世界大戦後70年間で、約3倍になった。これは、アジアやアフリカなどの発展途上国において  と呼ばれる急激な人口増加が起きたためである。なお、アフリカ<sup>c</sup>では人口が急増する国が依然として少なくないものの、世界全体における人口増加の勢いは、20世紀末ごろから鈍化してきている。

問1 空欄  に該当する国名として最も適切なものを1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=13)

A インド      B タイ      C ベトナム      D マレーシア

問2 空欄  に該当する海域の名称として最も適切なものを次から1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=14)

- A 黒海                      B 地中海                      C バルト海                      D 北海

問3 下線部 a に関して、これに関連した説明として最も適切なものを1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=15)

- A 主食である米が高い人口扶養力を持っていること  
B 主食である麦が高い人口扶養力を持っていること  
C 副食である魚介類が高い人口扶養力を持っていること  
D 副食である肉類が高い人口扶養力を持っていること

問4 下線部 b に関して、この地域の面積が地球の全陸地面積に占める比率に最も近似する値を1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=16)

- A 10%                      B 20%                      C 30%                      D 40%

問5 空欄  に該当する語句として最も適切なものを1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=17)

- A 人口拡大                      B 人口爆発                      C 人口肥大                      D 人口膨張

問6 下線部 c に関して、次の表1は世界の地域別人口(2000年・2015年)と人口密度(2015年)を示したものである。表1中の空欄〔 あ 〕・〔 い 〕・〔 う 〕・〔 え 〕のうち、ラテンアメリカに該当するものを1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=18)



表 1

地域	人口 (100万人)		人口密度 (人/km <sup>2</sup> )
	2000年	2015年	2015年
世界	6,127	7,349	54.0
〔あ〕	814	1,186	39.1
〔い〕	527	634	30.9
〔う〕	314	358	16.4
アジア	3,714	4,393	137.7
〔え〕	726	738	32.0
オセアニア	31	39	4.6

注：原資料は、UN, Demographic Yearbook, 2015年版。

資料：国立社会保障・人口問題研究所『人口統計資料集』により作成。

A〔あ〕      B〔い〕      C〔う〕      D〔え〕

2. 先進国と発展途上国は、人口の増減の傾向や年齢構成などの点で異なっている。ある国や地域の人口構成は、年齢階層別男女別にグラフ化した人口ピラミッドによって把握される。例えば、第二次世界大戦後の発展途上国では、出生率と死亡率が高いので、オ型の人口ピラミッドが一般的である。このような地域では、出生率が高いまま死亡率が低下すると、上述したウが起きやすくなる。

これに対して、第二次世界大戦後における日本を含めた先進国では、出生率と死亡率がともに低下し、多産多死から多産少死の時期を経て、少産少死へと変化してきた。こうした人口動態の変化をカと呼ぶ。その結果、人口増加率が低下して、人口ピラミッドはキ型に変化してきた。出生率の低下がさらに進み続けると、老年人口割合が高まるとともに、年少人口割合が低くなる少子高齢化が進むこととなる。人口ピラミッドは、年少人口の少ないク型となる。

少産少死の段階になると、出産可能とされる15歳から49歳までの各年齢の女性がその年に産んだ子供の数の平均を足し合わせた合計特殊出生率が著しく低下する。これがさらに低下すると、日本のように人口が自然減少を示す段階

になることもある。

問 7 空欄  ,  ,  のうち,  に当てはまる語句として最も適切なものを1つ選び, 解答欄にマークせよ。(解答番号=19)

- A 釣鐘                      B つば                      C ひょうたん                      D 富士山

問 8 次の図1中のお～くは, イタリア, エチオピア, 韓国, ベトナムのいずれかについて, 年齢3区分別人口割合を示したものである。人口ピラミッドを描いた場合, 下線部d中の  型になると考えられるものを1つ選び, 解答欄にマークせよ。(解答番号=20)

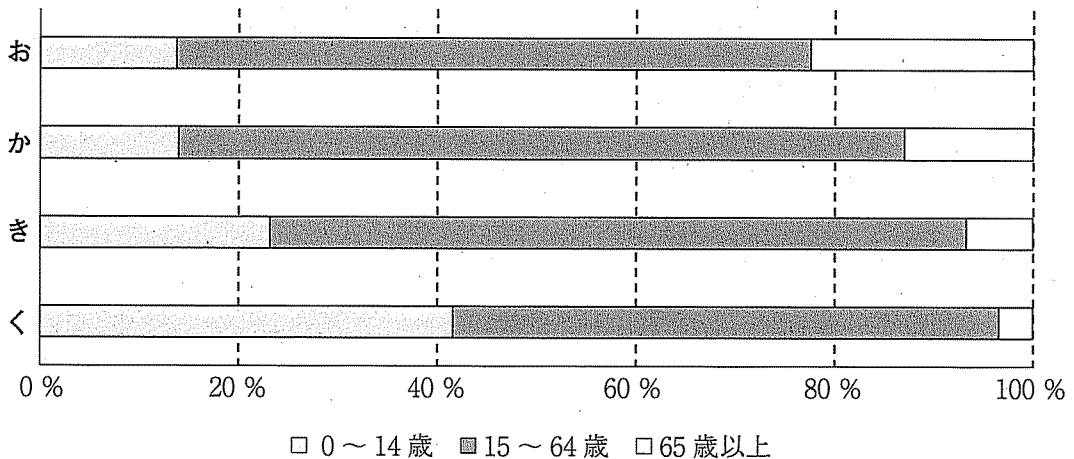


図 1

注: 原資料は, UN, World Population Prospects: The 2015 Revision (中位推計)。

資料: 国立社会保障・人口問題研究所『人口統計資料集』により作成。

- A お                      B か                      C き                      D く

問 9 下線部 e に関して、その理由として適切でないものを1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=21)

- A 医療技術の進歩
- B 衛生状態の改善
- C 栄養面の改善
- D 家族計画の普及

問10 空欄  に当てはまる語句として最も適切なものを1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=22)

- A 人口転換
- B 人口変化
- C 人口変動
- D 人口置換

問11 下線部 f に関して、次の図 2 は 5 つの先進国の老年人口比率の推移を示したものであり、け～しは、アメリカ合衆国、イギリス、ドイツ、フランスのいずれかである。図 2 とその説明を参照し、 国に該当するものを1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=23)

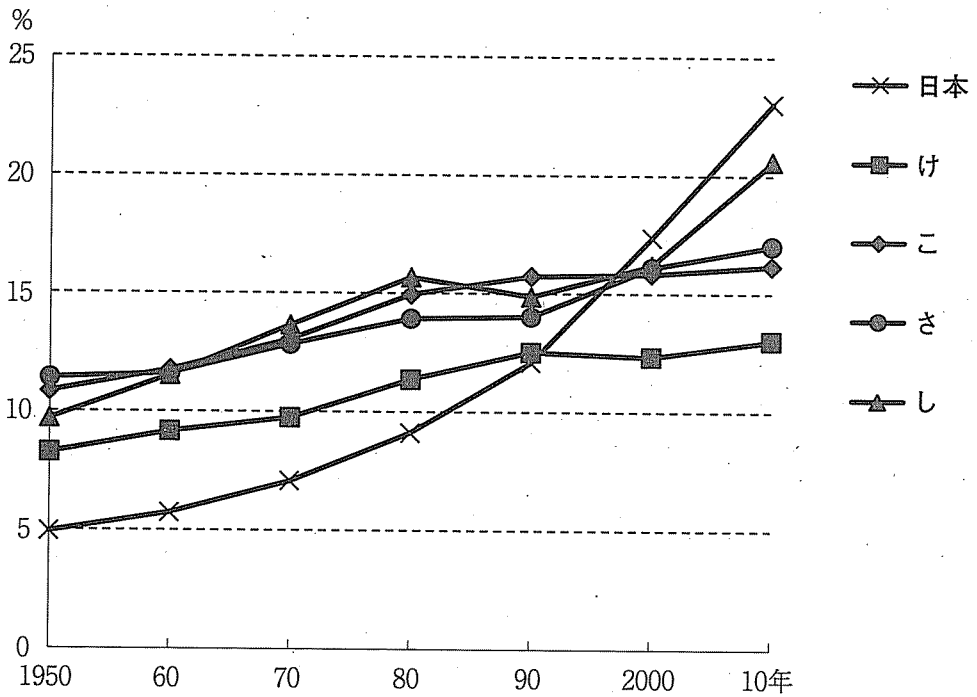


図 2

注：原資料は，UN, World Population Prospects: The 2015 Revision (中位推計)。

資料：国立社会保障・人口問題研究所『人口統計資料集』により作成。

図2によれば，日本以外の4か国は1950年に既に高齢化社会(老年人口比率7～14%)に突入していた。  国の同比率の伸びは比較的緩やかで，2010年でも13%台に留まっている。これを除く3か国は1980年には高齢社会(同上14～21%)になった。その後，  国と  国は同比率がそれ程上昇しなかった。  国は2000年まではその2か国と同様に上昇しなかったが，今世紀に入って日本の老年人口比率(超高齢社会：21%以上)に迫る勢いで上昇した。

A アメリカ合衆国

B イギリス

C ドイツ

D フランス

問12 下線部gに関して、次の表2中の〔す〕～〔そ〕は、ドイツ、日本、フランスのいずれかの合計特殊出生率の推移(1970～2015年)を示したものである。〔す〕～〔そ〕に該当する国名の組合せを1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=24)

表 2

	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015年
〔す〕	2.03	1.48	1.56	1.37	1.45	1.25	1.38	1.34	1.39	1.50
〔せ〕	2.13	1.91	1.75	1.76	1.54	1.42	1.36	1.26	1.39	1.45
〔そ〕	2.47	1.96	1.99	1.81	1.78	1.70	1.88	1.92	2.02	1.92

注：原資料は、UN, Demographic Yearbook。

資料：国立社会保障・人口問題研究所『人口統計資料集』により作成。

	〔す〕	〔せ〕	〔そ〕
A	ドイツ	日本	フランス
B	ドイツ	フランス	日本
C	日本	ドイツ	フランス
D	日本	フランス	ドイツ
E	フランス	ドイツ	日本
F	フランス	日本	ドイツ

地理B 問題は次ページに続いています。

〔Ⅲ〕 都市に関する以下の設問に答えなさい。

1. オーストラリア、カナダ、ドイツ、ブラジルの都市に関する以下の設問に答えなさい。

問 1 各国の首都について述べた文として適切なものを1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=25)

- A オタワは、フランス系住民に配慮し、ケベック州に建設された。
- B キャンベラは、アデレードとシドニーの首都をめぐる対立を緩和するため、両都市の中間に計画的に建設された。
- C ブラジリアは、内陸に位置する計画都市であり、リオデジャネイロからの遷都によって首都になった。
- D ボンは、東西ドイツ統一後も多極分散型国土を維持するため、引き続き首都となっている。

問 2 次の図1中のA～Dは、オーストラリア、カナダ、ドイツ、ブラジルのいずれかについて、人口規模10位までの各都市の人口が各国の総人口に占める割合を示したものである。ブラジルに該当するものを1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号=26)

総人口に占める各都市の人口の割合(%)

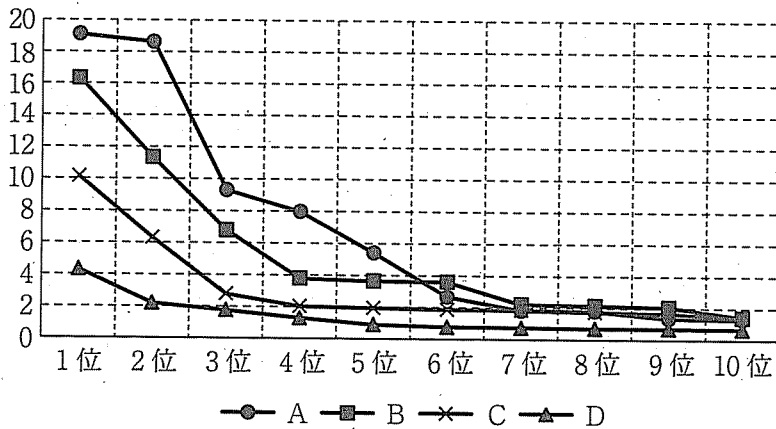


図 1

注：統計年次は2015年。

資料：UN, World Urbanization Prospects により作成。

問 3 首都の人口規模が最も小さい国を1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=27)

- |           |        |
|-----------|--------|
| A オーストラリア | B カナダ  |
| C ドイツ     | D ブラジル |

問 4 人口規模2位の都市に関する文のうち、適切でないものを1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=28)

- A ハンブルグは、エルベ川沿いに位置する。
- B メルボルンは、バス海峡に面して位置する。
- C モントリオールは、セントローレンス川沿いに位置する。
- D リオデジャネイロは、ブラジルより低緯度に位置する。



2. 次の図2を見て、都市人口率に関する以下の設問に答えなさい。

都市人口率  
(%)

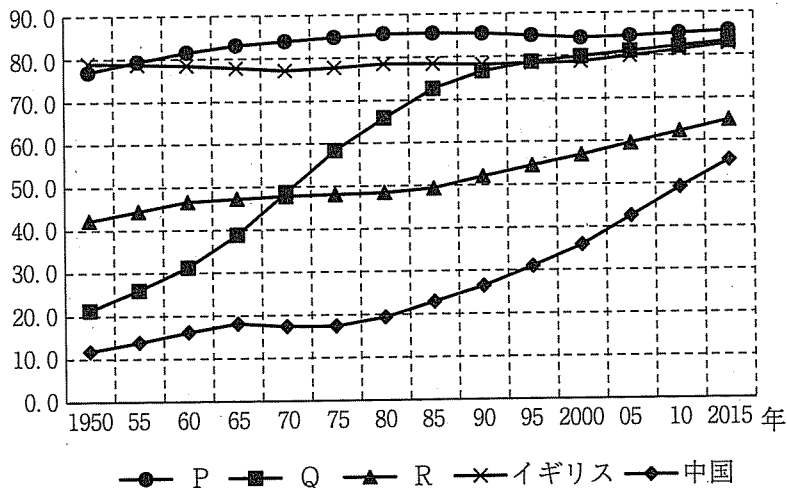


図 2

注：都市人口の定義は、各国の定義によって異なる。

資料：UN, World Urbanization Prospects により作成。

問 5 図2中のP～Rは、オーストラリア、サウジアラビア、南アフリカのいずれかである。P～Rと国名との組合せとして適切なものを1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=29)

	P	Q	R
A	オーストラリア	サウジアラビア	南アフリカ
B	オーストラリア	南アフリカ	サウジアラビア
C	サウジアラビア	オーストラリア	南アフリカ
D	サウジアラビア	南アフリカ	オーストラリア
E	南アフリカ	オーストラリア	サウジアラビア
F	南アフリカ	サウジアラビア	オーストラリア

問 6 図 2 を見ると、イギリスでは 1970 年前後にわずかであるが都市人口率が低下している。これに関連する語句として最も適切なものを 1 つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=30)

- A インフォーマルセクター
- B コナーベーション
- C 田園都市構想
- D 反都市化

問 7 図 2 を見ると、中国では 1970 年前後にわずかであるが都市人口率が低下している。これに関連する語句として最も適切なものを 1 つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=31)

- A 西部大開発
- B 退耕還林
- C 一人っ子政策
- D 文化大革命

問 8 日本では、市部および東京都の特別区の人口を都市人口と定義している。2015 年における日本の都市人口率の水準として最も適切なものを 1 つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=32)

- A 90 % 以上
- B 80 % 以上 90 % 未満
- C 70 % 以上 80 % 未満
- D 70 % 未満

3. 次の図3は、1950-1955年から2010-2015年までについて、それぞれの5年間における東京都区部の人口増加率(X軸)、郊外の人口増加率(Y軸)および東京圏全体の人口増加の実数(円の大きさと数値(単位:10万人))を示したものである。例えば、図3中のXは、1960-65年に相当し、東京都区部の人口増加率が7.0%、郊外の人口増加率が27.0%、この間の東京圏全体の人口増加は315万人である。図3を見て、以下の設問に答えなさい。

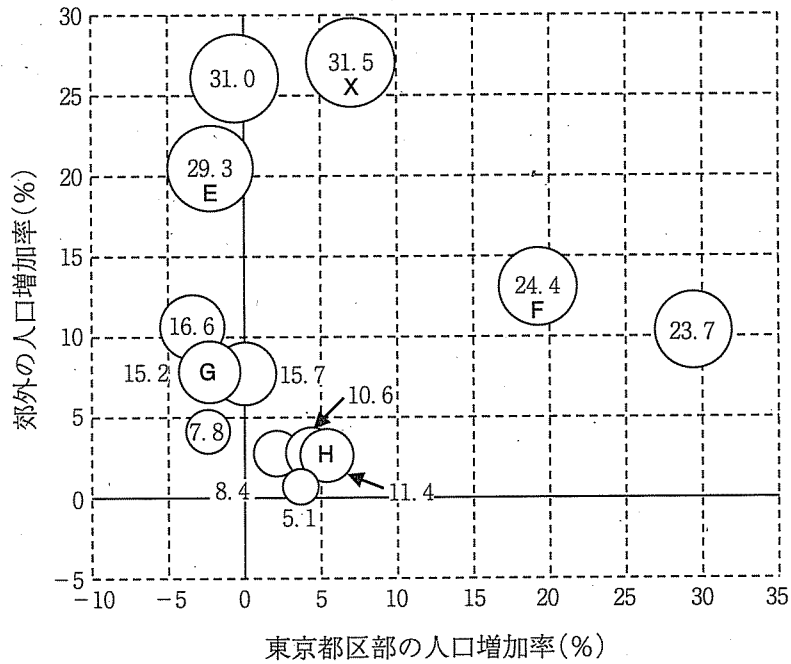


図 3

注：郊外は、埼玉県、千葉県、特別区部と島しょ部以外の東京都、神奈川県を指す。  
資料：『国勢調査』により作成。

問 9 図 3 中の E の時期における東京圏の出来事を説明した次の文章のうち、  
下線部が適切でないものを 1 つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号＝  
33)

この時期の東京圏では、郊外化の進展によってドーナツ化現象が発生した。  
労働力不足を背景とする<sup>A</sup>入国管理法の改正に伴って外国人人口が増加  
し、<sup>B</sup>インナーシティに定着したことも、郊外化の促進要因となった。国による  
計画的な住宅地の整備も進められ、多摩ニュータウンの入居が始まったの  
も、この時期であった。<sup>C</sup>しかし郊外化は、都市空間の無秩序な拡大を意味す  
るスプロール現象をしばしば伴った。<sup>D</sup>

問10 図 3 中の E の時期における東京圏の都心部の出来事の説明として適切な  
ものを 1 つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号＝34)

- A 郊外化に伴って、昼夜間人口比率が低下した
- B 郊外の土地需要が高まり、都心の地価は継続して下落した
- C 住民に占める高齢者の割合が郊外よりも高かった
- D 知識経済化を進めるため大学の立地が促進された

問11 図 3 中の H の時期における東京圏の出来事を説明した下の文章のうち、  
下線部が適切でないものを 1 つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号＝  
35)

この時期の東京圏は、東京圏以外に対して人口が転出超過となったものの、  
東京圏内では、<sup>A</sup>ウォーターフロント開発などに伴って住宅建設が進み、人口の  
都心回帰が起こった。この過程で、<sup>B</sup>都心には高所得者が居住する傾向が顕在化  
し、ジェントリフィケーションが起こり、<sup>C</sup>都心の出生率は上昇した。<sup>D</sup>

問12 図3中のE～Hは、1955-1960年、1970-75年、1985-90年、2005-10年のいずれかである。1970-75年に該当するものを1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。(解答番号=36)

地理B 問題は次ページに続いています。

〔IV〕 生活・文化に関する以下の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

1. 熱帯およびその周辺地域ではプランテーション農業がおこなわれている。これは欧米の国々がかつての植民地において始めた企業的農業の一形態である。そこで大規模に栽培された **あ** が世界市場に輸出される。それらの多くは私たちの日常生活と深く結びついている。サトウキビなどの甘味料の原料、  
コーヒー、茶、カカオなどの嗜好品、油やし、天然ゴム<sup>a</sup>といった工業原料など  
がその代表的なものである。第二次世界大戦後の植民地の独立により、多くのプランテーションは現地の経営者に引き継がれた。だが、この農業は単一作物  
を大規模に栽培するため、用地の確保のために熱帯雨林<sup>b</sup>の伐採が進むなど多く  
の問題を抱えている。また、商品作物の生産を優先することによって、自給的<sup>c</sup>  
な蔬菜や穀類などの生産に必要な耕地が不足することもあり、近年その対策が進められている。

問 1 空欄 **あ** に該当する語句を1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=37)

- A 園芸作物      B 工芸作物      C 混合作物      D 飼料作物

問 2 下線部 a に関して、次の表 1 はプランテーションの代表的な作物の国別生産高の上位 6 位を示したものであり、表 1 中の A～D はインド、インドネシア、コロンビア、中国のいずれかである。インドネシアに該当するものを 1 つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=38)

表 1

順位	パーム油	バナナ	コーヒー豆	茶
1 位	A	B	ブラジル	C
2 位	マレーシア	C	ベトナム	B
3 位	タイ	フィリピン	A	ケニア
4 位	D	ブラジル	D	スリランカ
5 位	ナイジェリア	A	エチオピア	ベトナム
6 位	パプア ニューギニア	エクアドル	B	トルコ

注：統計年次は 2013 年。

資料：FAOSTAT により作成。

問 3 下線部 b を言い換えた用語として最も適切なものを 1 つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=39)

- |            |           |
|------------|-----------|
| A アグリビジネス  | B フードシステム |
| C フィールドロット | D モノカルチャー |

問 4 下線部 c に関して、気候区と植生に関連する文として適切でないものを 1 つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=40)

- A 温暖湿潤気候区では、常緑広葉樹、落葉広葉樹、針葉樹が混在している。
- B サバナ気候区では、草丈の短い草原のなかに常緑広葉樹が点在する。
- C ステップ気候区では、草丈の短い草原が一面に広がっている。
- D 熱帯雨林気候区では、多種類の常緑広葉樹からなる密林が広がっている。



2. 私たちの着ている衣服の多くは海外で生産されたものである。安価で丈夫な既製服は多くの人に着用されているが、そのブランドの本社のある場所と生産地は、多くの場合一致することはない。<sup>d</sup> 販路も世界的に展開されており、同一ブランドの同じ服が様々な国の人々に着用されている。とりわけ最新の流行を取り入れながらも比較的low価格で大量販売する形態は い と呼ばれる。

しかしながら本来衣服はその風土や世界観、社会階層などによって異なるものである。いまでは世界中でジーンズやTシャツ、ポロシャツの姿は見慣れ、着慣れたものとなっているものの、日本の和服についてみると、夏場には木綿の浴衣姿を目にするし、卒業式や結婚式などでは絹の着物を着用するなど、季節条件やTPOに応じて繊維を使い分けていることがわかる。<sup>e</sup> また、伝統的景観の残された観光地では、和装にすると各種の割引が受けられるイベントが頻繁に行われるなど、独自の被服文化の継承に取り組む姿もみられる。

食べ物もまた衣服と同じことがいえる。風土や地域によって異なっていたあり方が、グローバル化にともなって均質化されてきているのである。しかしながら、もともと米や小麦などの穀類等は原産地から世界各地へと伝播してきた<sup>f</sup> ものである。食べ物のグローバル化は今に始まったことではないのである。

このようにグローバル化によって世界の均一化・画一化が進むなか、かえって差異を強調する局面も見られる。宗教がまさにそれである。女性のチャドル着用など、イスラム教の文化は独特にみえる。<sup>g</sup> イスラム教徒の人口は、2010年では約16億人(世界人口の23.2%)、キリスト教徒は約21億7千人(31.4%)<sup>h</sup> であるが、ある調査機関(Pew Research Center, U.S.A.)の予測では、2060年にはイスラム教徒は約29億8千万人(31.1%)、キリスト教徒は約30億人(31.8%)となり、いずれ拮抗するようになるという。実際、インドネシアやマレーシアなどから、観光<sup>i</sup>で日本を訪れるムスリムも近年増加している。イスラム教とムスリムはもはや身近な宗教であり隣人なのである。<sup>j</sup>

問5 下線部dについて、このような経営を行う企業形態を示す語句として適切なものを1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=41)

- A 郷鎮企業      B 多国籍企業      C JICA      D NPO

問6 空欄  に該当する語句として最も適切なものを1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=42)

- A イージーファッション      B ニュールック  
C ファストファッション      D ボンシックボンゲー

問7 下線部eに関して、表2は日本の衣類輸入額上位5カ国について2000年から2017年までの変化を示したものである。表2中のXに該当する国名として適切なものを1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=43)

- A アメリカ合衆国      B イタリア  
C インド      D 韓国

表 2

	2000年	2005年	2010年	2015年	2017年
1位	中国	中国	中国	中国	中国
2位	X	X	ベトナム	ベトナム	ベトナム
3位	Y	ベトナム	X	インドネシア	インドネシア
4位	ベトナム	Y	タイ	バングラデシュ	バングラデシュ
5位	Z	Z	Y	X	カンボジア

資料：『日本貿易統計』により作成。

問 8 下線部 f に関して、衣服の素材に関する説明として適切でないものを1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=44)

- A 麻(リネン)は夏物の衣服によく利用され、日本ではほとんどを輸入に頼る。
- B 綿は吸湿性に富む繊維であり、日本ではほとんどを輸入に頼る。
- C 絹はたんぱく質を主成分とする繊維であり、日本ではほとんどを輸入に頼る。
- D ジュートはニット素材として使われ、日本ではほとんどを輸入に頼る。

問 9 下線部 g に関して、作物の原産地について述べた文として最も適切なものを1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=45)

- A キャッサバは、ラテンアメリカが原産地とされ、タピオカの原料にもなる。
- B サツマイモは、ヨーロッパが原産地とされ、さまざまな料理の材料となっている。
- C タロイモは、中国南部が原産地とされ、おもにフライドチップスとして食される。
- D ヤムイモは、東南アジアが原産地とされ、蒸してつぶし餅状にして供される。

問10 下線部 h について、イスラム教徒が食べることを許された食材や料理を指す語句として適切なものを1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=46)

- A コーシャ
- B ハラル
- C ヴィーガン
- D ラマダン

問11 下線部 i について、世界の宗教人口の割合(2010年)で第4位であるものを1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=47)

A ヒンドゥー教

B 仏教

C 無宗教

D ユダヤ教

問12 下線部 j に関して、表3はビジットジャパン事業開始年である2003年と2016年の日本への国別インバウンド観光客数を比較したものであり、A～Dはアメリカ合衆国、韓国、台湾、中国のいずれかである。韓国に該当するものを1つ選び、解答欄にマークせよ。(解答番号=48)

表 3

	2003年	2016年
A	1,459,333人	5,090,302人
B	785,379人	4,167,512人
C	655,821人	1,242,719人
D	448,782人	6,373,564人

資料：日本政府観光局訪日外客数により作成。